

国土交通省 全国に6ルート指定

日本を代表する自転車道 ナショナルサイクルルート(NCR)

国土交通省は、一定の条件を満たす、安全で快適なサイクリングコースを認定する「ナショナルサイクルルート(NCR)」制度を設けている。日本を代表する自転車道を世界にPRする制度で、現在、6ルートが指定され、第1次の指定は2019年11月、ま



サイクルソリスムの関心が高まっている「トカプチ400のルート」

■NCRの指定要件

| | |
|--------|--|
| ルート設定 | ①サイクルツーリズムの推進に資する魅力ある安全なルートであること ・ルートの延長がおおむね100km以上であること(島しょ部除く) 他 |
| 走行環境 | ①誰もが安全・快適に走行できる環境を備えていること ・矢羽根等により自転車通行空間が整備されていること 他 |
| 受け入れ環境 | ①誰もが迷わず安心して走行できる環境を整えていること ・経路などの路面表示、案内看板が設置されていること 他 ②多様な交通手段に対応したゲートウエーが整備されていること ・鉄道駅などにレンタサイクルや着替え場所等が整備されていること 他 ③いつでも休憩できる環境を整えていること ・サイクルステーションがルート上におおむね20kmごとに整備されていること 他 ④ルート沿いに自転車を運搬しながら移動可能な環境を整えていること ⑤サイクリストが安心して宿泊可能な環境を整えていること ・ルート直近にサイクリスト向けの宿泊施設がおおむね60kmごとにあること 他 ⑥地域の魅力を満喫でき、地域振興にも寄与する環境を整えていること ⑦自転車のトラブルに対応できる環境を整えていること ⑧緊急時のサポートが得られる環境を整えていること ・救急車などがおおむね2kmごとに到達できること 他 |
| 情報発信 | ①誰もがどこでも容易に情報が得られる環境を備えていること ・ホームページなどで日英2カ国語以上により情報発信していること 他 |
| 組織体制 | ①官民連携によるサイクリング環境の水準維持等に必要な取り組み体制が確立されていること |

つくば霞ヶ浦りんりんロード

つくば霞ヶ浦りんりんロードは旧筑波鉄道の廃線敷と、霞ヶ浦を周回する湖岸道路を合わせた全長約180kmのコース。茨城県の14市町村にまたがる。水郷筑波国立公園に指定されている霞ヶ浦などの水郷地域や筑波山域などの豊かな自然や風景、鹿嶋神宮に代表される歴史・文化的遺産をさまざまな地域の魅力が楽しめる。筑波山を望む旧筑波鉄道廃線敷を活用したコース(約40km)は車



県スポーツ推進課によると、りんりんロードの20年度の利用者数(推計)は10万5千人となり、前年度の9万3千人を上回った。増加要因は、アウトドア志向の高まり、インフルエンサーを活用した情報発信やサイクリストの受け入れ環境の充実など。受け入れ環境については、星野リゾート初の自転車専用ホテル「BEES土浦」のオープンや「サイクリストにやさしい宿」の認定開始(21年3月末現在25施設認定)などがあつた。

利用者数は10万人超 受け入れ施設も充実

ビワイチは日本最大の湖「琵琶湖」を反時計回りに1周する延長約200kmのサイクリングルート。走り慣れた人なら1日で走れる距離だが、観光や食事を兼ねながら、2〜3日かけて走るのがお勧めとみられる。琵琶湖周辺には見どころも多い。比叡の麓に築かれた里坊、織田信長が築いた土城跡、彦根城跡の特別史跡など、ちよっ



琵琶湖に浮かぶ「湖中大鳥居」

サイクル拠点完成 推進条例も制定

琵琶湖の東を走る近江鉄道は、電車内に自転車を持ち込める「サイクルトレイン」サービスもあり、とても便利だ。最近の話題といえるのは、大津市の天津港に、ビワイチの拠点となる天津港サイクリングステーション「Porta Blue」(オーポータブル)が完成したこと。4月28日から営業を開始して



しまなみ海道サイクリングロードは、広島県尾道市と愛媛県今治市を結び、日本初の海峡を横断する70kmのサイクリングルート。瀬戸内海の島々が織りなす絶景を楽しめる。海道にある七つの橋はそれぞれ形式が異なっていることから「橋の美術館」と呼ばれ、瀬戸内の多島美と橋の造形美の絶景は「世界で最も美しいサイクリングロード」とも呼ばれている。10月にビッグウェイイベントとして来

トカプチ400

トカプチ400は、帯広市を起終点とし、土幌町から大樹町までを8の字で結んだルート。延長103km。大雪山公園や太平洋の広大な大地から自然風景、十勝平野の肥沃な大地に広がる農業・酪農の風景が魅力。キャッチフレーズは「山、平野、海へ。雄大な十勝を感じるサイクリングルート」。ちなみに、トカプチはアイヌ語で「十勝のこと」とい

8の字で結ぶルート 北海道らしさ堪能



旧国鉄・広尾線沿線駅内の一つ「幸福駅」

二つの湖を結ぶ山岳コース(帯広駅―道の駅しほろ―糠平温泉―幌鹿峠―然別湖―扇ヶ原展望台―道の駅しほろ―帯広駅、約140km)は上級者向けだが、十勝南部のガテンと名所を巡るガテン巡りのコース(帯広駅―真庭園―十勝ヒルズ―幸福駅―中札内美術村―六花の森―紫竹ガテン―帯広駅、約90km)は中級者向けで、美しいガテンに心が癒やされる。北海道TOKACHIサイクリングリスムルート協議会は3月、「トカプチ400アクションプラン」を策定している。

ビワイチ

スポーツバイクを中心に、電動自転車やキッズバイクなどもあり、気軽にサイクリングを楽しめる。料金は車種によって異なり、1日4,000円から1万円ちょっと、カフェもあり、癒やしの空間だ。ビワイチのガイドブック「びわ湖1周 滋賀してんし」も発行されている。また、ビワイチを推進する「ビワイチ推進条例」が滋賀県議会に可決された。11月3日を「ビワイチの日」と定め、3〜9日を「ビワイチ週間」としてイベントなども実施する予定だ。

太平洋岸自転車道

太平洋岸自転車道は、千葉県銚子市から神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県の各太平洋岸を走り、和歌山市に至る、延長1487kmの壮大なサイクリングコースだ。富士山をはじめ、日本を代表する観光地や景勝地が多数存在し、サイクリストを飽きさせない。千歳を超えるコースだけに、一般人が一度に走破しようとするのは半月以上かかるという。しかし、9日間

総延長は約1500キロ 9日で走破した人も



読売新聞によると、このつむものは和歌山県内の男性2人で、「太平洋岸に沿って走りながら、地域ごとの多様な文化や歴史を感じる」ことができた。このコースでなければ味わえない貴重な体験だったとコメントしている。己の限界に挑戦するのはいが、見ごころも多いだけに、ゆづり見で回るといい。

しまなみ海道サイクリングロード

しまなみ海道サイクリングロードは、広島県尾道市と愛媛県今治市を結び、日本初の海峡を横断する70kmのサイクリングルート。瀬戸内海の島々が織りなす絶景を楽しめる。海道にある七つの橋はそれぞれ形式が異なっていることから「橋の美術館」と呼ばれ、瀬戸内の多島美と橋の造形美の絶景は「世界で最も美しいサイクリングロード」とも呼ばれている。10月にビッグウェイイベントとして来

富山湾岸サイクリングコース

富山湾岸サイクリングコースは氷見市を起点、朝日町を終点とする、延長102kmの湾岸沿いルート。富山湾は「世界で最も美しい湾クラブ」(本部・フランス)に加盟しており、湾の魅力が体感できる。立山連峰の景色はもちろん、ルート上にはJR氷見線の車窓でも有名な高

美しい湾を巡る 初心者でも手軽に



岡市の「雨晴海岸」や、「日本の夕陽100選」にも選ばれている「生地海岸」などがあり、景色の良さはルートの売りといえる。4月には魚津市の市制施行70周年として、富山湾岸サイクリングが市のありとあらゆる発着点に行われた。3年ぶりの開催とあって、県内外から千人を超える人が参加したという。氷見市が作成した自転車愛好家向けのPRウェブサイト「サイクリングのみも」をぜひ見てほしい。お勧めのサイクリングコースなども紹介されており、参考になる。